

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町教育委員会教育長

にし の としあき
西 埜 聡明 さん



「至らない点もあるかと思いますが、雄武町の教育に関するさまざまな課題に正面から向き合い、教育委員の皆さんや教職員、教育関係者が一丸となって取り組んでいきます」そう語るのは、1月から雄武町の教育長に就任した西埜聡明教育長です。

平成10年度より道立高校の教員として教育現場に立ち、平成26年度からは北海道教育委員会の指導主事として教育行政に携わってきました。令和6年度にはオホーツク教育局教育支援課長を務め、管内の教育行政を幅広く支えてきた経験を持ちます。昨年12月の町議会定例会での議決を受け、このたび雄武町の教育長に就任しました。

現在の業務については「教育委員会事務局で回付される文書の決裁をはじめ、校長会議など各種会議へ出席しています。雄武町の教育の現状や課題を把握するため、これまでの調査や統計

資料などに目を通して現状の確認をしています」「学校教育には多様な取り組みが求められており、国や北海道の教育施策の動向を見据えながら、必要に応じてスピード感をもって改善を図ることが重要です。そのうえで、子どもたちに質の高い教育機会を保障し、未来を担う資質・能力をはぐくむ教育を着実に推進していくことが何より大切です。そのためにも『ごどもんなか』の理念を大切に、課題解決に取り組んでいきたい」と現在の教育環境についての考えを話します。

町民の皆さまへ「教育行政は、教育委員会や学校だけで成り立つものではなく、学校、家庭、地域が連携する必要があります。児童生徒とその保護者、関係機関や企業、そして町民の皆さまのご協力が必要です。ご理解をいただけるよう努力して参りますので、ご支援をよろしくお願いいたします」

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいのある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼寒い日が続いていますが、朝の澄んだ空気に、気持ちが少し引き締まることがあります。気がつけば、もう2月。新しい年が始まってから、あっという間に時間が過ぎていくように感じます。忙しい日々の中でも、ふとした瞬間に季節を感じながら、穏やかに過ごしていきたいものです。(館田)